鬼怒川と共に走る！常総線!!

大正から令和を走り続けて100年以上

関東鉄道常総線！

常総線って??

常総線は、取手から下館をつなぐ、非電化の路線。鬼怒川にほぼ並行して南北に走る鉄道となっています。

路線距離は51.1km、軌間は1067mmで、最高時速は90kmとゆっくりとみんなに寄りそうようなやさしい鉄道です。

車両は、2両、1両編成または機関車です。

路線名は沿線が旧常陸国と旧下総国にまたがることに由来しているそうです。また、南側は他社線との乗りかえにより、東京への通勤を担う路線としての役割もあります。

キハ2300形（1次車）

常総線の歴史

昭和大正

一九十三年常総鉄道開業

一九四五年筑波鉄道と合併し、常総筑波鉄道に。

一九六五年鹿島参宮と合併して関東鉄道となる。

一九七七年取手ー寺原間複線化

一九八二年寺原ー南守谷複線化

一九八四年取手ー水海道複線化

一九九七年水海道ー下館間でワンマン運転を実施

平成

二〇〇三年全列車に防護無線を設置

二〇〇五年茨城初のオープンカウンター改札を設置

新車両によるラッピングトレイン運行開始。

二〇〇九年取手ー水海道の全駅にPA SMO対応自動改札機導入

二〇十五年豪雨によって常総市内の鬼怒川の堤防が決壊したため、路線冠水、水没などの被害を受け全線運転見合わせとなる。

十一月十六日全線で通常運行に戻り、快速運転も再開となる。

令和

それでも常総線は立ち上がったんだね

そして、これからも未来を走り続ける!!

頑張れ!!常総線！

緑がたのしみ!!

発行日 令和元年9月

発行者 富士見ヶ丘小学校6年 粉川琳名

りんな

厳しい洪水乗りこえた常総線

二〇十五年台風による豪雨で鬼怒川の堤防が決壊し、線路冠水・水没・線路道床流失等の被害を受け、全線運転見合わせになりました。

全線で通常運行に戻ったのは2ヶ月後のことで、被害が大きかった

環境にやさしい民鉄

民鉄や電車などはCO₂の排出量が少なく地球温暖化の防止になります。また、切符や定期券はトイレットペーパーやベンチなどに生まれかわります。また屋根に太陽光のパネルや風車を取りつけています。

民鉄には工夫がいっぱい

関東鉄道では関鉄観光のバスツアーを行い、民鉄に親しんでもらおうとしたり、一部の駅では自転車の持ち込みができるようにしたりしています。

また、イベントも地域で行われていて思い出の一つ学びの一つになります。

ぜひ行ってみて下さい！

また、つくばエクスプレスに接続し、都内や筑波学園都市へのアクセスがとてもいい!!

まさに常総線は縁の下の力持ち!!

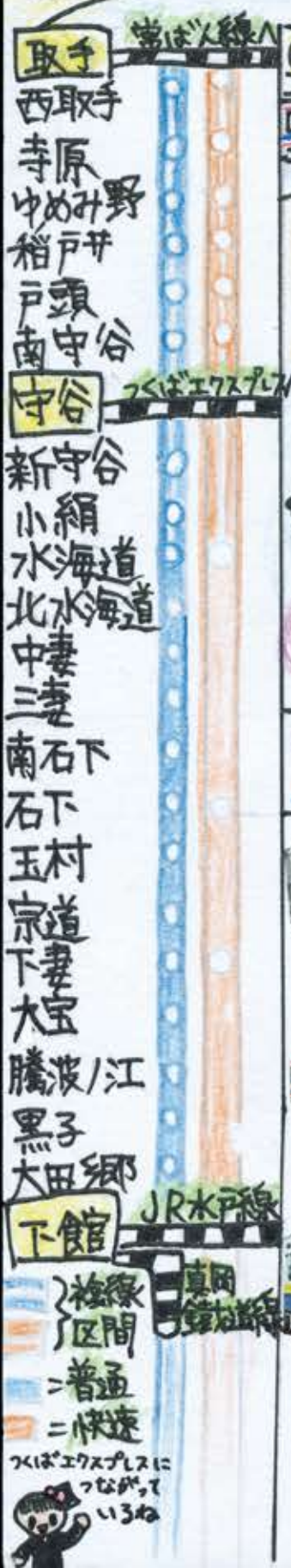
こんどでかけようかなへ

民鉄に乗って出かけよう！

〈編集後記〉

私は、この新聞を作って、改めて民鉄は「かっこいいな!!」と思いました。

今後民鉄を知らない人たちに、民鉄の魅力がつまったこの新聞を見せて未来へとつなげていきたいと思います。

また、自分でまとめてみてこんなに民鉄ってすごいんだ!!とおどろきました。なので民鉄に興味がさらにわきました。

未来の民鉄はどうなっていくのか楽しみです。